

講演会終了後、アンケートを回収させていただきました。  
以下、いただきましたご意見を一部抜粋して掲載させていただきます。

※アンケート回収 190      参考になった 168      どちらでもない 7  
参考にならなかった 4      記入なし 9

回答者所属			参加理由		
当事者	11	医療 20	聞きたい講師だった	40	案内が届いたから 36
保護者	50	保健 17	会場が近いから	19	誘われたから 14
一般	8	保育 5	発達障害に関心がある	142	その他 13
福祉	44	その他 4	毎回参加している	27	記入なし 3
教育	39	記入なし 12			

(複数回答)

(複数回答)

#### ■みなさまからいただいた感想から

- ・ 神尾先生のお話がわかりやすく良かった。例を使った説明が分かりやすく、勉強になった。
- ・ 質問に的確に答えて頂き、スッキリした。熱心に答える姿勢が素晴らしい。話も聞きやすかった。
- ・ とても熱心に広範囲なお話をしてくださり、ありがとうございました。
- ・ 講演会といえば2時間くらいが多いですが、3時間を超える講演会で、じっくり先生の話が聞けた。
- ・ 発達障害の特性や支援方法を勉強できてよかった。
- ・ 発達障害について、とても分かりやすくお話してくださったので、講演時間が短く感じられた。
- ・ 講演会に参加させて頂くのは初めてで、知らないことばかりで勉強になった。
- ・ 専門的なお話も多かったが、理解できてよかった。
- ・ 研究のエビデンスがある分かりやすい講演ありがとうございました。
- ・ 最近の研究でわかったこと（幼児期の脳神経の発達など）が興味深かった。
- ・ 研究データや具体的な事例を交え、分かりやすい内容だった。
- ・ 最新の発達障害の知見と、年々増えているメンタルの問題についての話が聞けてよかった。
- ・ 発達障害の研究がさらに進んでいることを認識できた。
- ・ 幼児期から成人に至るまでの予防や必要なケアについて学ぶことができた。
- ・ 乳幼児期から成人期までを全て話してもらえたことが良かった。
- ・ 幼児期や成人期など、分けて話してもらえたのがよかった。時間が過ぎるのがあつと言う間だった。
- ・ 乳幼児期から成人期まで、各発達段階の特徴やアセスメントが分かった。
- ・ ライフステージごとの話が聞けてよかった。つながりがイメージできた。
- ・ それぞれのライフステージにて、本人だけではなく周囲（家族）への影響のお話も参考になった。
- ・ 子どもの成長に合わせて対応を変えていかなければと思った。
- ・ 現在の困り事への対応だけでなく、予防の視点、見通しを持って関わる必要があると理解した。
- ・ 予防の視点が大切。長期的な視野で関わっていくことが大切だと思った。
- ・ 小さい頃からの丁寧なアセスメントが必要だと感じた。
- ・ 幼児期からの心のケアについてのお話が聞けて良かった。
- ・ 乳幼児期のお話は、仕事に関連するので大変参考になった。
- ・ 保健師をしているが、乳幼児期からの支援が大切だと理解した。発達障害の診断をしてくれる機関は少ないが、早期発見・早期支援を目指し、見通しを持って関わり、親を支えていきたいと思った。

- ・乳幼児期の家族を支援することが多いが、見通しを持って支援することが必要だと分かった。
- ・気づきが大切で、適切な教育支援をすれば改善できると知った。今後の保育に活かしたい。
- ・乳幼児健診に関わっているが、親への伝え方にいつも悩まされる。長い目で地域につなげられる支援をしていきたいと思った。
- ・支援は与えられるものではなく選択するものという視点は忘れずに関わっていきたい。
- ・周囲との関係の大切さ、気質を理解して接することの大切さを理解した。
- ・女性でなければ分からないような、母親への社会からの圧力について十分考慮して話してもらえた。
- ・母子の愛着障害が原因で ASD や不安になるのではないと言ってもらえたことが励みになった。
- ・子どもへの関わりが間違っていないことが分かって自信になった。
- ・子どもとの関わりで、少し自分本位だったと思った。喋って良いことがあれば喋るようになる、考えなければならないと思った。
- ・子どもが問題を起すたびにイライラして、対応する親は身も心もへとへとになって、やりきれない思いでいっぱいになるが、講演を聞いて少し光が見えたような気がした。
- ・子どもの発達障害を親として治療しなければと頑張ってきたが、私の頑張りも子どもの完璧主義を強めていたのかもしれないと気づき、反省した。これからは子どもと一緒に強みを伸ばしていきたい。
- ・子どもの不安は気づきにくい、子どもの行動には心が表れることを知ることが出来た。
- ・学校の役割の大きさを改めて学んだ。
- ・学校の役割を再確認できた。事例をあげて頂けたことで具体的
- ・子どもの心の問題に気づけているか。問題場面や行動のみに着目しがちだった。
- ・発達障害がある児童や家族とどのように関わるべきか学ぶ機会になった。
- ・家族やきょうだいへの対応についても教えて頂けて良かった。
- ・発達障害児者の支援には、メンタルの視点が不可欠だということが分かった。
- ・メンタルヘルスのお話を聞ける機会は少ないので、大変参考になった。
- ・不安や恐怖が二次的なものではなく神経生物学的基盤に関連するというお話に驚いた。
- ・メンタルヘルス予防プログラムが興味深かった。
- ・学校で取り組んでいる認知行動療法が興味深かった。広がっていくとよいと思った。
- ・学歴期の認知行動療法についてのお話は大変勉強になった。ワークシートを活用したいと思う。
- ・全ての子どもが通う小学校のうちから、自分のこころに向き合う時間があることはとても意義があると思った。
- ・予防の観点から、障害のある子もない子も共通する支援・教育(自分の状況を言葉で言い表す力、伝える力など)を身につけてもらう方法がこれから必要とされると思った。特に PC、スマホなど他者とのコミュニケーションが希薄になっている時代なので。
- ・予防プログラムがいいなと思った。キャラクターで考えることはメタ認知につながると思った。
- ・おじさま虫の話はとても興味深かった。数値化すると気持ちを整理しやすい。大人でも効果がありそうだった。
- ・子どもが発達障害で悩むことが多かったが、子どもと一緒におじさま虫を探してみたいと思う。
- ・問題行動ではなく誘因に目を向けるとのことだったが、特に高等教育で誘因を見つけ出すことは困難なので、問題行動をできるだけ抑えられ、本院も過ごしやすくなる実践なども教えてもらいたかった。
- ・診断を受けずに成人になった子どもへの対応が聞けて良かった。
- ・一次予防や自己肯定感、レジリエンスを高めるアプローチに興味を持っていたので、今回の講演は非常に興味深かった。
- ・脳の発達の後遺症かというお話はすごく納得できた。
- ・脳の大きさは発達障害と関わりがあることなど、興味深かった。
- ・医療、心理、行政の支援等さまざまな面から理解してサポートする必要があることを示して頂けた。
- ・メンタルのケースをみる中で、ベースに発達障害があるケースが多いと感じていたので、密接な関係があることが分かって良かった。ただ、二次障害ばかりではないということも知れてよかった。
- ・グッドドクターの DVD 見ます。
- ・資料を全部もらったのは有難かった。

- ・ 詳細な資料が良かった。活用させて頂きたい。
- ・ 神尾先生の説明が分かりやすく、スライドも分かりやすかった。
- ・ モニターが会場中程になり、良かった。
- ・ 会場が駅から近いので電車で来る方は便利だと思った。
- ・ スタッフが親切で嬉しく思った。
- ・ たくさんの人が来られていて、驚いた。
- ・ 多くの参加者に驚いた。それだけ発達障害に関心があり、悩んでいる関係者が多いのだと認識した。
- ・ 発達障害に関心がある方が会場にたくさんいて、これだけの人が協力できたらどんなに素敵だろうと感じた。一人で考えこまず、家族、教師、地域で連携していけると思う。
- ・ 気質やメンタル面に目を向けることの大切さを再認識した。専門家に頼る時代から、身近な支援者にできること、また予防の観点に時代が変わってきていると感じた。

#### ■ 要望・改善してほしい点について

- ・ もう少しゆっくり話を聞きたかった。
- ・ もう少し深く知りたいところがあった。講演内容のポイントを絞ってほしい。
- ・ 1つのことを掘り下げて、深く話してもらいたかった。
- ・ 話題が満載で、ついていけないところがあった。
- ・ 全年齢では時間が足りない。ライフステージごとに分ける方がよいのではないか。
- ・ 聴講者が幅広いため、一般的な話になってしまうのかなと感じた。
- ・ 内容に対して時間が短い。もっとじっくり聞きたかった。
- ・ 質疑応答を入れるなら、4時間くらい設定してほしい。
- ・ 講義、休憩の時間が長い。
- ・ 講演時間をもう少し短くしてほしい。
- ・ 学校での具体的な取り組みについてももう少し紹介してほしい。
- ・ もっと成人の支援についてのお話が聞きたかった。
- ・ マイクの音量が小さい。先生のお声が聞き取りづらい場面があった。
- ・ 後ろの方は聞こえにくかったのではないかと思います。
- ・ レーザーポインターが示すところが分かりにくい。
- ・ スライドの一部が隠れていた。
- ・ 資料をカラー印刷してほしい。お金をとっているのなら。
- ・ 文字など、読みにくかった(色、大きさ)。
- ・ 冊子に専門用語のようなものが多く、分かりにくい部分があった。
- ・ 机が欲しかった。
- ・ できれば机がほしい。参加人数が多いため、難しいとは思いますが。
- ・ 机がなくてメモするのが大変だった。座っているのがしんどかった。
- ・ 少し暑かった。
- ・ クーラーが効きすぎて寒かった。
- ・ 会場が少し寒かった。ストールを持参したが、それでも。
- ・ 背の高い人の後ろだとスクリーンが見えない。座席をずらして並べてほしい。
- ・ 会場が狭く、苦しかった。参加費は出すので、余裕のあるところでしてほしい。
- ・ 広い会場でしてほしい。椅子がびっしりで窮屈。
- ・ 席が足らず、後ろに座る人が何人もいたのが気になった。
- ・ トイレの込みあい。
- ・ タイムスケジュール通りでなくても、変更があれば言ってほしい。
- ・ 話が予定よりも伸びて、休憩がとりにくかった。
- ・ 一時保育の定員を増やしてほしい。
- ・ 飲み物の種類が少ない。JAビルに言ってほしい。

- ・保護者にはちょっと難しい。
- ・講演会があることをもっと広く知らせてほしかった。
- ・親を母親と特定せず、保護者や両親と記載してもらえると有難い。父親の責任も大切にしたい。
- ・健康予防というより健康維持かと思った。予防の場合は、不健康予防というニュアンスがよいと思った。
- ・スタッフの中にある思い込みの改善。女性や子どもを優先しようという考えが透けてみえる対応があった。

#### ■ポラリスへの要望や関心のあることについて

- ・発達障害者支援センターがあることをもっと宣伝してほしい。
- ・各校への案内配布。
- ・県内での活動資料も配布してほしい。
- ・過去のケースについて知りたい。
- ・多職種での連携について。成人期で上手く連携できている事例が知りたい。
- ・具体的な支援を勉強していきたい。一歩先の支援方法のお話も聞かせて頂きたい。
- ・アセスメントの具体的な方法について。
- ・発達障害の人が利用できるサービスについての情報がほしい。
- ・他の市町村での発達障害児者支援の取り組みについて。
- ・発達障害の親がカウンセリングや相談ができる場所を教えてもらいたい。
- ・メンタルヘルス予防プログラムを個別で受けたい。もっと聞きたい。
- ・ポラリス主催でセルフ・マネジメントの方法を教える講座を開催してほしい。
- ・ペアレントトレーニングを受けてみたい。どんな内容か教えてほしい。
- ・WAISを受けてみたいが、受け方がわからない。
- ・教育現場などに直接行って教師や保護者と話をしてほしい。また偏見があり、相談のハードルも高いと感じる。
- ・職場研修として講演をしてもらいたい。
- ・発達障害専門の相談機関を増やしてほしい。専門職向けの研修を増やして専門的な支援者の育成を行って頂きたい。
- ・ADHD 大人の集まり等を開催してほしい。特に ADHD で育児をしている人と話す機会がほしい。
- ・カサンドラ症候群の人達の集まりがあるとよい。
- ・行政への働きかけと共に、まだまだ直接支援も頑張してほしい。
- ・県や市の関係者にも聞いてもらってほしい。行政の施策につなげてほしい。
- ・発達障害の現状や情報を学校現場等と共有し、人的・経済的な面でのサポート体制が必要になっているのではないかと感じる。

#### ■次回以降の講演会への要望

- ・児童の分野に特化した講演会。
- ・保育所、幼稚園などの集団内での発達障害の見立てについて。
- ・ペアレントトレーニング。
- ・具体的な接し方、便利グッズとかアイデア商品など。
- ・子どもの心が折れてしまった時の支援について。
- ・虐待とアタッチメントの関係について。
- ・子どもの遊びについて。
- ・気質の難しい子どもへの関わり方について。
- ・配慮していても排除ととられない支援の方法、声かけについて。
- ・支援事例をあげて、職場で活かせるような内容を希望。

- ・コミュニケーション能力。自己肯定能力を伸ばす方法。
- ・行動分析について知りたい。
- ・認知行動療法、学校でのプログラムについて具体的に知りたい。受講してみたい。
- ・インクルーシブ教育について。
- ・外国のルーツをもつ学生の支援について。
- ・医療、福祉、教育の連携について。
- ・虐待のケアについて。
- ・子育てをしている人のメンタルヘルスについて。
- ・発達障害が疑われる親への対応について。
- ・ASD 児に対する父親の関わり方について詳しく知りたい。
- ・思春期や成人期へのアプローチ。
- ・発達障害の性について。
- ・成人期からの支援をメインとした講演会や研修。
- ・成人期の支援の現状や機関連携の実際について。
- ・就労支援について。
- ・5080 問題。
- ・引きこもりと発達障害の関連性。
- ・高齢の発達障害、不安、無気力、引きこもり、低体重、身体疾患、ゴミ屋敷、このような人の支援について。
- ・自閉症について。
- ・知的障害について。
- ・ADHD に特化した講演会。
- ・成人 ADHD をもっと深く取り上げてほしい。
- ・LD について。
- ・発達障害の運動療法、作業療法、視能訓練について、LD センターの奥村先生のお話。
- ・精神疾患が伴う発達障害への対応について。
- ・人格障害の満たされない心に対するフォローの方法。
- ・解離性障害について。
- ・色々な障害をもつ子どもが大人になった時にどうしていくかを聞きたい。
- ・障害児者支援協会の山内康彦先生のお話を聞きたい。
- ・小栗正幸先生のお話を聞きたい。
- ・神尾先生のシリーズで講演会を何回か実施してほしい。
- ・東牟婁地域でも講演会をしてほしい。
- ・紀南地域でも講演会をしてほしい。
- ・本と同じ内容でなく、最新の話で、そこに行かなくては知ることができない内容。
- ・講演会の音源をホームページで公開していただきたい。聞き逃した部分を再確認したい。
- ・先生のお話の後、数人(保護者同士)で話す機会を設ける。又はポラリスの方も入って話をする。